

15. 薬剤師・薬局について

県では、以下の薬局・薬剤師や医薬品に関する取組を行っています。

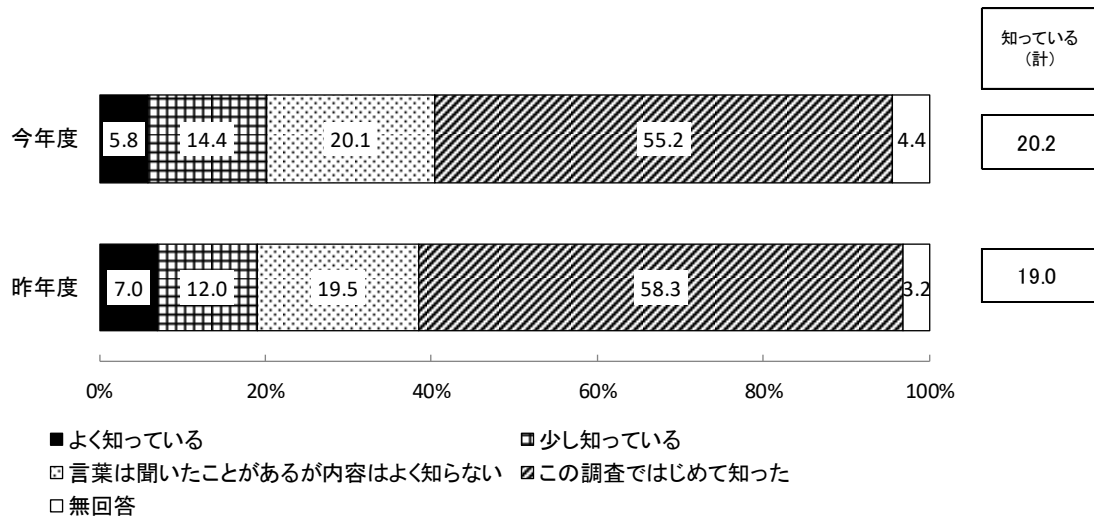
- 医療や介護の関係施設と連携しながら患者さんを支える「地域連携薬局」の普及と周知
- 薬以外の健康に関する相談にも応じる「健康サポート薬局」の普及と周知
- 地域において薬学的な健康サポート(※)を行う「山口県健康エキスパート薬剤師」の活動の支援
- 県民等が、「ジェネリック医薬品」や「バイオ後続品（バイオシミラー）」に対する理解を深め、安心して使用できる環境の整備

「**薬学的な健康サポート**」とは、身近な薬局・薬剤師が、学術的な知識、経験などを活かした相談対応、県民が自ら行う健康管理への助言、受診勧奨などの総合的な支援を行うことです。

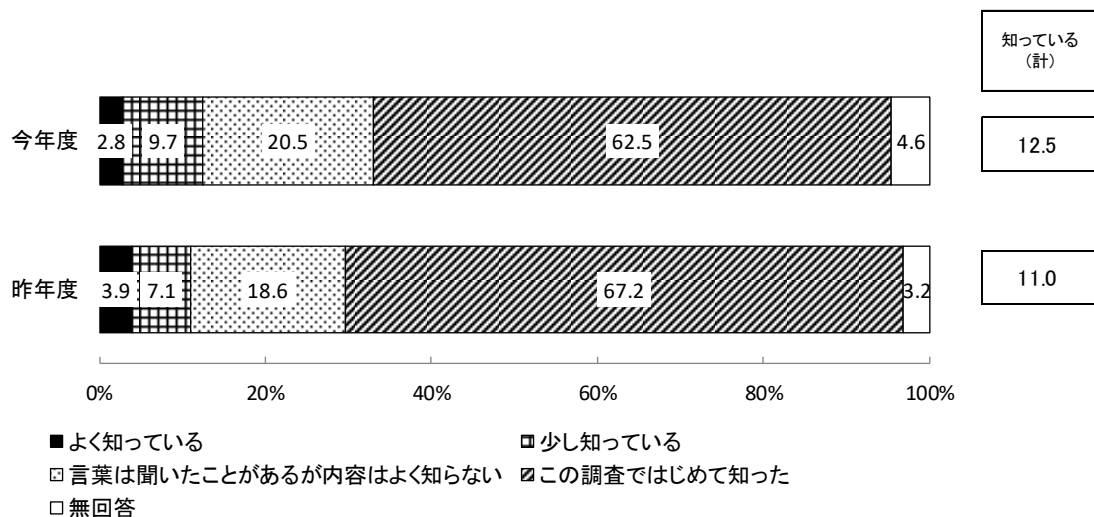
15-1. 薬剤師・薬局に関する認知度

Q15-1 これらの言葉の意味を知っていますか。（○はそれぞれ1つ）

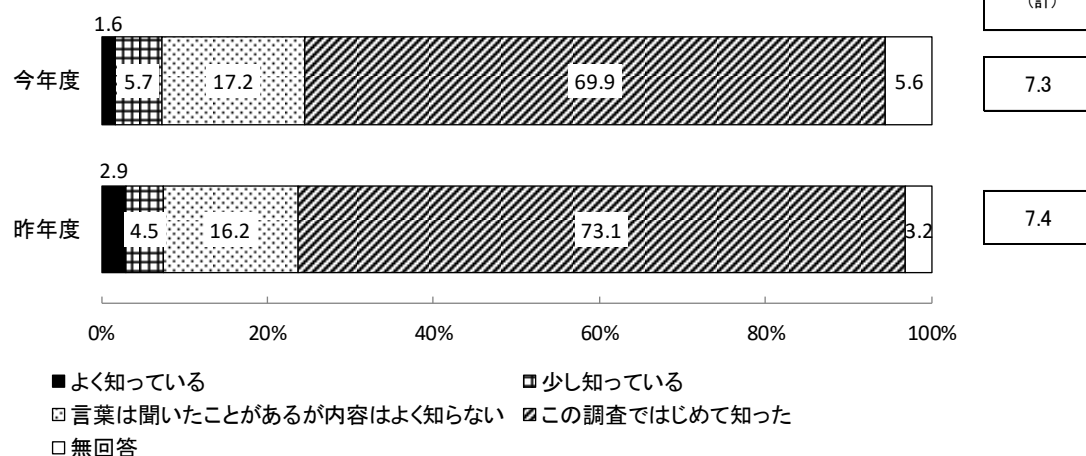
(1) 地域連携薬局



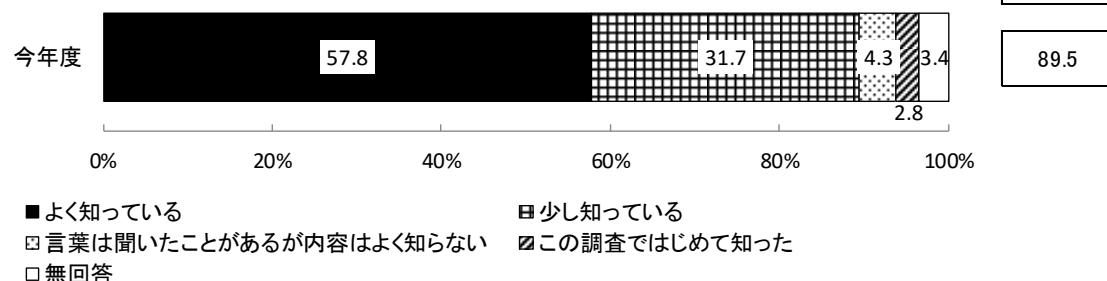
(2) 健康サポート薬局



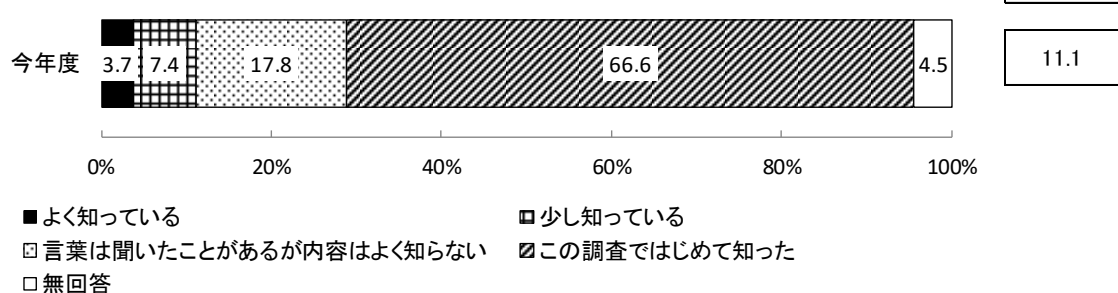
(3) 山口県健康エキスパート薬剤師



(4) ジェネリック医薬品



(5) バイオ後続品 (バイオシミラー)

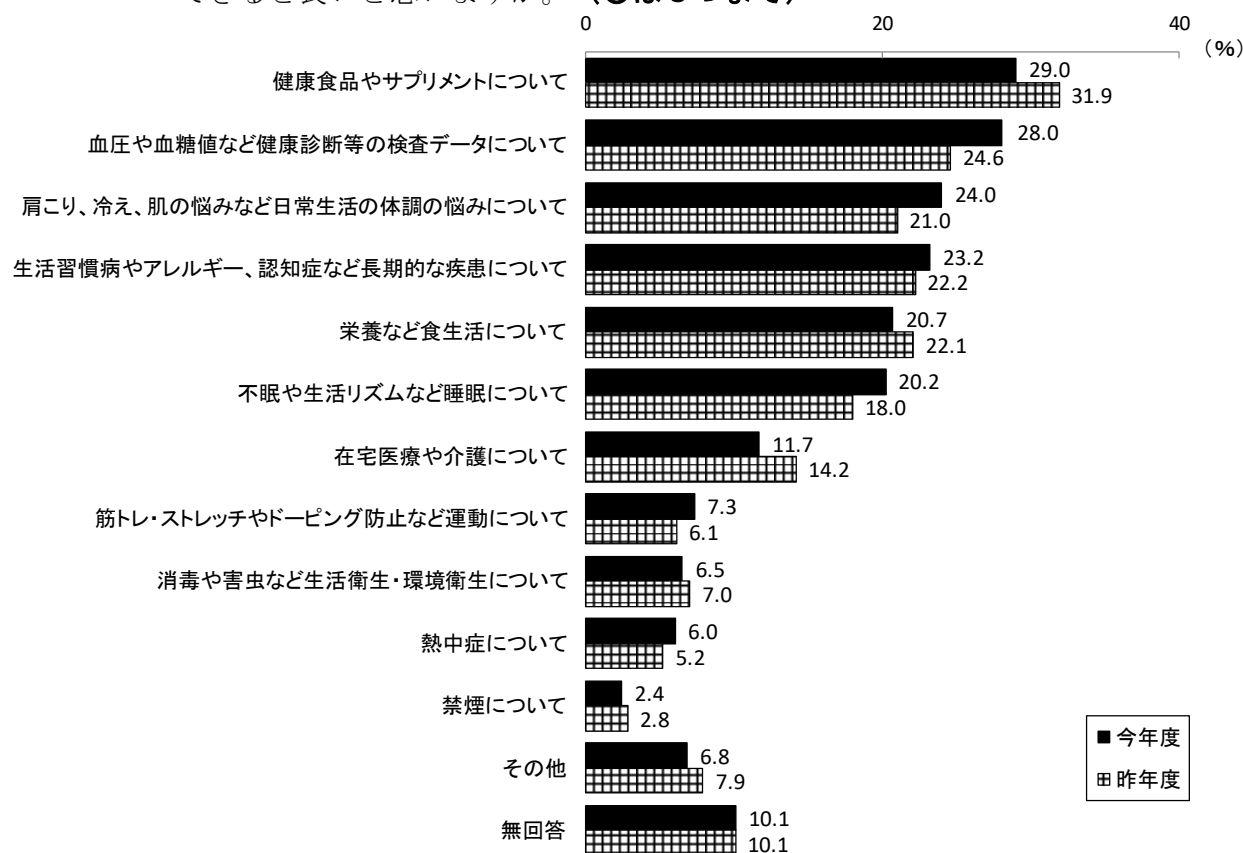


※「4. ジェネリック医薬品」、「5. バイオ後続品 (バイオシミラー)」は今年度新設のため、昨年度のデータはありません。

薬剤師・薬局に関する取組の認知状況について、「よく知っている」と「少し知っている」を合わせた『知っている (計)』の割合は、「4. ジェネリック医薬品」が89.5%と最も高く、次いで「1. 地域連携薬局」が20.2%の順となっており、昨年度と比較すると、「2. 健康サポート薬局」が1.5ポイント、「1. 地域連携薬局」が1.2ポイントそれぞれ上昇している。一方、「この調査ではじめて知った」の割合は、「3. 山口県健康エキスパート薬剤師」が69.9%と最も高く、次いで「5. バイオ後続品 (バイオシミラー)」が66.6%となっており、昨年度と比較すると、「2. 健康サポート薬局」が4.7ポイント、「3. 山口県健康エキスパート薬剤師」が3.2ポイント、「1. 地域連携薬局」が3.1ポイントそれぞれ低下している。

15-2. 薬や健康に関して、薬以外のことで相談できると良いと思う内容

Q15-2 薬剤師・薬局に、薬や健康等に関して、薬以外のことでどのような内容を相談できると良いと思いますか。（〇は3つまで）



薬や健康に関して相談できると良いと思う内容について、「健康食品やサプリメントについて」が29.0%と最も高く、次いで「血圧や血糖値など健康診断等の検査データについて」が28.0%、「肩こり、冷え、肌の悩みなど日常生活の体調の悩みについて」が24.0%、「生活習慣病やアレルギー、認知症など長期的な疾患について」が23.2%、「栄養など食生活について」が20.7%の順となっている。昨年度と比較すると、「血圧や血糖値など健康診断等の検査データについて」は3.4ポイント、「肩こり、冷え、肌の悩みなど日常生活の体調の悩みについて」は3.0ポイントそれぞれ上昇し、「健康食品やサプリメントについて」が2.9ポイント、「在宅医療や介護について」が2.5ポイントそれぞれ低下している。